

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴 科目 日本史探究

教科： 地歴 科目： 日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 必修選択選択希望者

教科担当者：必修選択A：中山 必修選択B：中山

使用教科書：（「高校日本史」（815・山川・日探706））

教科 地歴 の目標：

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会【知識及び技能】に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的【思考力、判断力、表現力等】原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】・青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を十分に理解できている。・7p.に示された3つの図解などから、発達課題や欲求の階層について自らに引きつけて、十分に理解できている。 【思考・判断・表現】・自身の体験を振り返りながら、青年期のもつ意味について多面的・多角的に考察し、適切に表現できている。 ・7p.「考えてみよう」に取り組む学習のなかで、青年期の理解を通して、自分の個性や自分らしい生き方について、多様な視点から考察し、適切に表現できている。【主体的に学習に取り組む態度】・自立した主体としての「個人」のあり方について、現代社会に見られる公共的な課題の解決を視野に、自ら主体的に関わろうとし、自覚を深める意欲がある。 定期考査	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公共的な空間を作る私たちにについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 【思考・判断・表現】・自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。世界の宗教や日本の思想等、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解している。	○	○	○	22
	【知識・技能】幸福をよく生きることと捉えるソクラテス、「善い」ということを、徳と捉えるギリシアや中国の思想を、それぞれ十分に理解できている。 Approach 4「思考実験1」などを活用して共同体について考え、深めることができる。【思考・判断・表現】 ・p.17「考えてみよう」のなかで、共同体や個人の自由について考え方を比較して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】よく生きることや徳を、自分や社会の問題として十分にとらえることができる。 Approach 4「思考実験1」などを、主体的に取り組んで考え、さまざま定期考査	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 【思考・判断・表現】・「新型感染症問題」「候補者男女均等法」を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想している。 【主体的に学習に取り組む態度】・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解している。	○	○	○	21
				○	○		1

[illegible]